

天高3年生が、化学グランプリ2025で銀賞・銅賞を受賞しました！

7月21日に実施された「化学グランプリ2025」(通称:化学の甲子園)において、3年生の生徒3名が一次選考を通過し、8月21日(木)～23日(土)に二次選考に挑戦し、1名が銀賞、2名が銅賞を受賞しました。

化学グランプリとは、全国規模で行われている化学の実力を競うコンテストで、7月に一次選考、8月に二次選考が行われています。

3名の生徒は、一次選考を受験者の上位約3%(77人)の成績で突破し、8/21～23の二次選考に挑みました。

二次選考は実験を中心としたコンテストで、見事銀賞、銅賞の獲得でした。特に銀賞は大賞5名、金賞15名に次ぐ賞で素晴らしい成績でした。

また、大阪府からの二次選考者は6名であったので、その内の半分が本校生徒という結果でした。

賞を受賞した3名は、本校化学科主催の実験講習や発展講習に取り組み、今年度は化学グランプリに向けた※『自主ゼミ』を開講し、ゼミを牽引してくれたメンバーでした。化学はもちろんのこと、他教科の学習も自主的によく頑張ってくれた成果だと感じています。

次は来年度の化学グランプリに向けて、講習や勉強会を検討しているところです。
化学好きの皆さん！ぜひお待ちしております。



《参考》

※「自主ゼミ（化学グランプリ）」始動

6月5日（木）、化学グランプリ 1次予選突破に向けた自主ゼミ（勉強会）を行いました。自主ゼミは予選突破をめざして勉強したい人たちが集まり、自分たちで解説を行い学びを深めていく取り組みです。

第1回の今回は、化学グランプリの過去問を用いて、化学結合に関して学びを深めました。1～3年生が20名弱集まり、1年生がまだ授業で習っていないところを先輩が説明をしたり、解説担当の生徒がプラスアルファで調べてきたことを情報提供するなど、有意義な時間になりました。

次回以降は5名程度の小ゼミを作成し、7月の本番に向けて学習を進めていきます。



◆化学グランプリは、全国の中高生に化学への興味・関心を喚起し、意欲・能力を高め、世界にも通用する若い化学者を育成することを目的に1999年より開催されています。

◆一次選考は、7月21日に全国66会場に於いて、マークシート形式で実施されました。無機化学、有機化学、物理化学の分野を中心にした大問4題が出題され、試験時間は150分間です。2,476名が参加し、77名が二次選考に進みました。

◆二次選考は、工学院大学八王子キャンパスに於いて、2泊3日の合宿形式で実施されました。試験時間240分の間に実験をしつつレポートを完成させる試験です。参加者は白衣と安全メガネを装着して試験に挑みます。試験では、実験を行い、データを取り、考察してレポート形式にまとめて提出します。